

# プラーク コントロールの臨床

監著 金子 至

執筆

内川宗敏 金子 智 金子 創 汲田 剛 福田修二 松井 力 宮下 徹  
荒井雅代 市川美由紀 伊藤美穂 稲原有妙子 木下優子 小林加奈 坂間由希子  
関根菜々子 長田芳野 成田裕子 橋爪由美子 松本絹子 柳澤陽華

「いまさら?」ではなく、「いまこそ」。それがわかる1冊です。



プラークコントロール(PC)を「いまさら?」と感じる方も多いでしょう。本書では、PCを「付着しているプラークを落とす」だけでなく、「患者が自分の健康は自分で守る“自律的健康観”の獲得」を含むものと位置づけています。PCは誤嚥性肺炎の予防、ひいては最期まで食べられる“口”作りへと繋がっています。とくに、世界に先駆けて超高齢社会へ突入したわが国では、今後そのような予防的思考と口腔環境の整備などがより重要になるのは必至。「いまこそ」、PCが必要なのです。

〈B5判変型・160頁・オールカラー 本体5,500円+税〉

詳しい  
情報は  
こちら



## 本書の特長

- ◆ 部位別（前歯部、臼歯部）、場面別（歯周外科手術後、矯正治療中）、補綴治療別（ブリッジ、インプラント）、対象者別（小児、高齢者、有病者）に対応したコンテンツ！
- ◆ セルフケアで使用する口腔衛生用品を具体的に紹介し、その変遷も含めた長期症例を掲載！
- ◆ PCの確立が歯科医院経営の安定に繋がるロジックも収載！

## CONTENTS

### ◆ Prologue

- プラークコントロールの意味・意義

### ◆ Main Chapter

- “人生100年”を見据えたブラッシングの必要性
- 前歯部のプラークコントロール
- 臼歯部のプラークコントロール
- 歯周外科手術後のプラークコントロール
- ブリッジのプラークコントロール
- インプラントのプラークコントロール

- 矯正治療中のプラークコントロール
- 小児のプラークコントロール
- 高齢者・有病者のプラークコントロール
- 歯肉縁下のプラークコントロールの重要性  
34年間の変遷
- 歯肉を退縮させない指導を意識した長期2症例
- “自律的健康観”の獲得
- 歯周治療と歯科医院経営

### ◆ Epilogue

- 訪問診療で行う“口腔ケア”